

みえライフイノベーション
総合特区促進セミナー

平成26年2月13日、昨年9月に東京・日本橋にオープンした「三重テラス」で、「みえライフイノベーション総合特区促進セミナー」が開催されました。

三重県健康福祉部の永田次長からみえライフイノベーション総合特区の概要説明の後、講演1では、三重大学医学部附属病院臨床研究開発センターの西川政勝教授が「統合型医療情報データベースについて」と題した講演が行われました。



西川政勝 教授



西村訓弘 教授

講演2では、三重大学副学長・大学院医学系研究科の西村訓弘教授が「みえライフイノベーション推進センター (MieLIP) について」と題した講演があり、来場者の方々にみえライフイノベーション総合特区への参画を呼びかけました。

会場には多くの外資系・日系大手医薬品メーカー、大手IT関連企業などの担当者が来場し、講演後の交流会では、三重県自慢の食材に舌鼓を打ちながら、講師と熱心に情報交換を行いました。



交流会

インドネシアミッション薬事産業視察

平成26年1月19日から24日まで三重県薬事工業会主催によるインドネシア薬事産業視察が実施され、産学官及び金融機関の18名が参加し、政府機関、製薬企業、大学など訪問先の関係者との連携・支援体制を構築しました。

訪問した政府機関では、薬事産業の現状の紹介を受け、質疑を含め活発な意見交換を行いました。



BPOMと連絡窓口構築

また、BPOMと三重県との間で行政間の情報交流を行う連絡窓口構築の覚書を交わしました。

訪問企業では、パートナー関係構築に対する日本企業への関心の高さが感じられました。インドネシア大学では、三重大学、鈴鹿医療科学大学との人材交流など具体的な取り組みの協議が行われました。

訪問先

投資調整庁 (BKPM)
厚生省
食品薬品監督局 (BPOM)
インドファルマ (製薬)
ムステカ ラトゥ (化粧品)
キミアファルマ (製薬)
インドネシア大学薬学部

編集後記

今年の冬は、近年にない、積雪を経験しました。振り返ってみれば、夏は猛暑で、秋の心地よい季節をほとんど味わうことなく、冬へと突入したように思います。私たちに雪は異常な天候ですが、雪に何度も遭遇すると雪とお付き合いも普通に感じてしまうのが不思議です。ものづくり企業のみなさんにとっても医療分野への参入は異質

であり、不安を感じると思います。しかし、5年後、10年後には当たり前医療機器を作っているのかもしれない。医療機器に限らず医療・健康・福祉分野における開発をMieLIPを中心にしっかりサポートしていきたいと思っています。

発行 三重県健康福祉部ライフイノベーション課
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
(メディカルバレー推進班) TEL: 059-224-2331
(総合特区推進班) TEL: 059-224-3351
FAX: 059-224-2344 (各班共通)
E-mail: life@pref.mie.jp

メディカルバレープロジェクトホームページ
<http://www.mvp.pref.mie.lg.jp/>
みえ福祉用具産業支援ネットワークホームページ
<http://www.fynet.pref.mie.lg.jp/>

医薬品安全情報提供システムホームページ
<http://www.medsafe.pref.mie.lg.jp/>
三重県薬事工業情報提供システム (PIIS) ホームページ
<http://www.piis.pref.mie.lg.jp/>

メディカルバレー通信

発行/三重県健康福祉部ライフイノベーション課

vol. 29



2014 春

Contents

- ◆ 対談「MieLIP 鈴鹿～現状と展望～」
- ◆ 「みえライフイノベーションフォーラム」の開催
- ◆ みえライフイノベーション総合特区
福祉用具・ものづくり研究会の紹介
- ◆ 研究開発支援拠点 MieLIP の活動報告
- ◆ みえライフイノベーション総合特区における
成果事例のご紹介
- ◆ メディカルバレー企業紹介
- ◆ 「みえライフイノベーション総合特区促進セミナー」の開催
- ◆ インドネシアミッション薬事産業視察